

## I 松島町学校施設等長寿命化計画の背景・目的等

### 1 目的

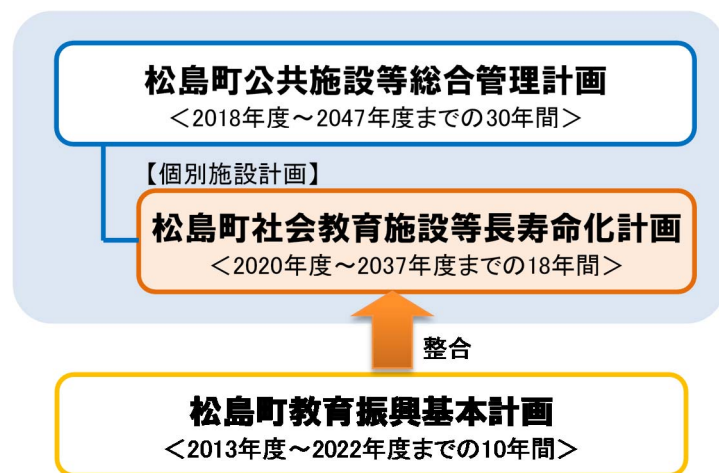
本町では、厳しい財政状況下において、今後の公共施設等の維持管理・更新費用の増加を見据え、長期的な視点をもって公共施設等の更新、複合化、転用及び長寿命化等を計画的に行い、財政負担を軽減・平準化することを目的として平成28年（2016年）7月に「松島町公共施設等総合管理計画」を策定しました。さらに、平成30年（2018年）3月には、固定資産台帳の整備をきっかけとして内容の充実を図った「松島町公共施設等総合管理計画」の改訂を行っています。

この中で社会教育施設等は、町民文化系施設、観光・社会教育系施設に含まれており、ともに、「長寿命化が必要な施設・部位等」を検討し、長寿命化計画の策定に取り組みます」とされています。このため、個々の施設の状況を踏まえながら、具体的な長寿命化の方針を定めることが求められています。

### 2 計画期間と計画の位置付け

本町が所有する社会教育施設等について、上記の背景や松島町教育振興基本計画を踏まえて総合的な観点で捉え、本町の社会教育施設等の中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化など、適切なマネジメントを図りつつ、その機能・性能を確保するため、社会教育施設等の老朽化等の状況を把握し、社会教育施設等が求められる役割等を考慮した上で、中長期的な施設整備の具体的方針・計画を策定することを目的としています。

【図：計画の位置づけ】



## II 社会教育施設等の実態

### 1 社会教育施設等の運営状況・活用状況等の実態

#### (1) 対象施設一覧

【図：社会教育施設等一覧】

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	建築年
町民文化系施設	松島町文化観光交流館	宮城県松島町磯崎字浜1番地2	昭和48年（1973）
	松島東部地域交流センター	宮城県松島町竹谷篤ヶ沢7番地2	平成3年（1991）
	手樽地域交流センター	宮城県松島町手樽釜地前1番地1	昭和61年（1986）
町民文化系施設 計		12,544	—
観光・社会教育系施設	松島町B&G海洋センター	宮城県松島町高城字浜1番地1	昭和58年（1983）
	松島町運動公園	宮城県松島町高城字動伝一34番地1	平成9年（1997）
	松島町勤労青少年ホーム	宮城県松島町高城字町71番地	昭和60年（1985）
	松島町野外活動センター	宮城県松島町根廻字上山王6番地1	平成6年（1994）
	品井沼干拓資料館	宮城県松島町幡谷字明神52番地1	平成19年（2007）
観光・社会教育系施設 計		2,733	—
その他	松島町民グラウンド	宮城県松島町磯崎字浜1番地2	昭和56年（1981）
	西の浜貝塚公園	宮城県松島町磯崎字西ノ浜・長田地内	昭和55年（1980）
その他 計		44	—
社会教育施設 合計		15,321	—

※延床面積は付属施設も含めた面積  
 ※建築年度は校舎の中で最も古い建物の建築年度を採用  
 ※区分は松島町公共施設等総合管理計画による

本町の平成26年度から平成30年度までの5年間の施設関連経費は、約1.4億円～約4.7億円で、年間の平均は約2.1億円/年となります。

平成26年度は松島町B&G海洋センター及び松島運動公園の改修に伴い、施設整備費が拡大している状況にあります。

(千円)

	2014	2015	2016	2017	2018	平均
	平26	平27	平28	平29	平30	
施設整備費	327,628	0	0	0	2,916	66,109
その他施設整備費	0	2,527	0	1,149	5,832	1,902
維持修繕費	1,490	2,385	1,890	4,374	2,251	2,478
光熱水費・委託費	137,223	145,496	152,262	131,579	141,447	141,601
施設関連費 合計	466,341	150,408	154,152	137,102	152,446	212,090

※施設関連経費は施設自体の整備に係る経費  
 ※その他施設整備費等は設備の整備に係る経費

## III 社会教育施設等整備の基本的な方針等

### 1 改修等の基本的な方針

#### (1) 長寿命化の方針

住民が安全で安心して使用できる社会教育施設等を指すため、中長期的な視点に立ち、計画的に改修を行い、社会教育施設等を健全な状態に保ちつつ、可能な限り長く使用することを基本的な方針とします。

社会教育施設等の改修は、大規模改修と長寿命化改修という改修水準の異なる2種類の改修区分により計画的に実施します。大規模改修と長寿命化改修の概要は下表のとおりです。

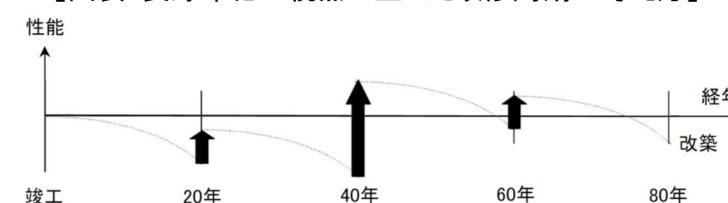
【表：大規模改修、長寿命化改修の概要】

	改修水準
大規模改修	経年劣化による消耗、機能低下に対する機能回復工事
長寿命化改修	経年劣化による機能回復工事のほか、社会的要求に対応するための機能向上工事

#### (2) 目標使用年数、改修周期の設定

適切な改修を定期的に行うことで目標使用年数を80年として設定します。目標使用年の中間年である40年を長寿命化改修の周期とし、さらに、その中間年の20年を大規模改修の周期として設定します。

【図表：長寿命化の視点に立った改修周期の考え方】



築20年目 大規模改修	築40年目 長寿命化改修	築60年目 大規模改修
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水改修</li> <li>・外壁改修</li> <li>・設備改修</li> <li>・劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・故障・不具合の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防水更新（断熱化）</li> <li>・外壁改修</li> <li>・内部改修（床・壁・天井）</li> <li>・設備更新</li> <li>・コンクリート中性化対策</li> <li>・鉄筋防錆対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水改修</li> <li>・外壁改修</li> <li>・設備改修</li> <li>・劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・故障・不具合の修繕</li> </ul>

## IV 長寿命化の実施計画

### 1 実施計画

長寿命化の実施計画として、今後20年間の長寿命化改修事業等を設定します。

当面は、小中学校のICT環境整備、松島中学校の水道改修工事及びプール解体工事を実施していくため、長寿命化改修事業は2024年から実施していきます。

なお、少子化の進行に伴う幼児・児童・生徒数の減少を見据え、必要に応じ施設規模の縮小を検討していきます。

【表：改築・改修等の実施計画】

	2020 令和2	2021 令和3	2022 令和4	2023 令和5	2024 令和6	2025 令和7	2026 令和8	2027 令和9	2028 令和10
長寿命化改修事業	—	—	—	—	—	—	—	勤労青少年ホーム長寿命化改修設計 松島町B&G海洋センター長寿命化改修設計	勤労青少年ホーム長寿命化改修工事 松島町B&G海洋センター長寿命化改修工事
部位修繕事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他施設整備事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	2029 令和11	2030 令和12	2031 令和13	2032 令和14	2033 令和15	2034 令和16	2035 令和17	2036 令和18	2037 令和19
長寿命化改修事業	勤労青少年ホーム長寿命化改修工事 松島町B&G海洋センター長寿命化改修工事	—	—	—	松島町野外活動センター長寿命化改修設計	松島町野外活動センター長寿命化改修工事	松島町野外活動センター長寿命化改修工事	—	—
部位修繕事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他施設整備事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—

### 2 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

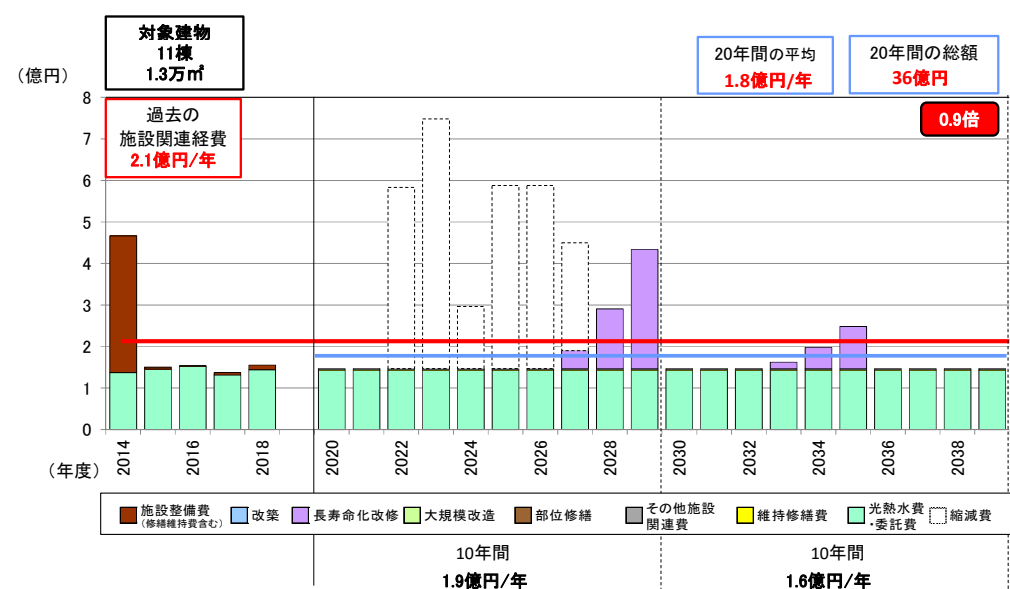
従来の修繕・改修を今後も続けた場合（従来型）の維持・更新コストと、実施計画を反映した場合の維持・更新コストを下表に示します。

実施計画を反映した場合の平均年間事業費は1.8億円/年となり、過去5年間の施設関連経費2.1億円/年を0.3億円/年ほど下回るコストとなります。これにより、従来型の3.7億円/年から年平均コストを低減していきます。

また、学校施設の年平均コストの低減を図るため、社会教育施設等と学校施設の維持・更新等を一体となって行います。これにより、年平均コストを過去の実績4.3億円/年の1.1倍にあたる4.6億円/年に抑えることを目指します。

なお、今後の改修にあたっては、建築技術や建材の発達に伴う、低コストの工法や耐用年数の長い建材の採用を積極的に検討していきます。

【図：今後の維持・更新コスト(実施計画を反映した場合)】



【図：今後の維持・更新コストの比較】

今後の維持・更新コストのパターン	従来の修繕・改修を今後も続けた場合(従来型)	長寿命化の考え方を施設一律に反映させた場合(長寿命化型)	実施計画を反映した場合
パターン別の改築等の考え方	改築:40年 大規模改修:20年	改築:80年 長寿命化改修:40年 大規模改修:20年	劣化状況や財政制約を踏まえ個々に設定
20年間の総額	73億円	44億円	36億円 [37億円]
20年間の年平均	3.7億円/年	2.2億円/年	1.8億円/年 [1.9億円/年]

注：〔 〕内の値は従来型からの改善額

